

令和5年12月議会

議案説明 補足資料2

議案第259号・議案第260号・議案第261号・議案第262号
博多港の港湾施設、アイランドシティはばたき公園、
博多港国際ターミナル、福岡市海浜公園に係る指定管理者の指定について

○博多港港湾施設等に係る指定管理者選定・評価委員会 議事要旨 頁

- ・ 第1回選定・評価委員会（令和5年 6月19日） 1
- ・ 第2回選定・評価委員会（令和5年 9月15日） 7
- ・ 第3回選定・評価委員会（令和5年10月 4日） 12

○アイランドシティはばたき公園に係る指定管理者評価委員会 議事要旨

- ・ 第1回評価委員会（令和5年 5月11日） 19
- ・ 第2回評価委員会（令和5年 7月31日） 20
- ・ 第3回評価委員会（令和5年 9月 8日） 22

第1回博多港港湾施設等に係る指定管理者選定・評価委員会議事要旨

○日時：令和5年6月19日（月） 14時00分～15時30分

○場所：福岡市港湾空港局局議室

■審議事項1 募集要項等に関すること

【委員】

質問事項が3点ある。

- ①博多港港湾施設に旅客待合所（博多ふ頭第2ターミナル）、博多ポートタワーといった一般の方が利用する施設が含まれているが、どういう扱いか。
- ②中央ふ頭クルーズセンターの指定管理料の上限について、クルーズ船寄港回数165回程度を前提として92,000千円と設定されているが、寄港回数が増減した場合はどうなるのか。
- ③外郭団体が公募に参加する場合のイコールフットィングについて、総得点の5%を減じるとのことだが、5%の妥当性はどうか。他の施設もそうなのか。

【事務局】

- ①旅客待合所（博多ふ頭第2ターミナル）、博多ポートタワーについては、指定管理の範囲は維持修繕のみである。
- ②上限額92,000千円は、寄港回数に関わらずかかる人件費等の固定費と寄港回数によって増減する流動費で構成されている。固定費について増減はないが、クルーズ船が寄港した場合、交通整理等の警備員が必要であり、165回より増えた場合は増額、減った場合は減額しての支払いとなる。
- ③福岡市において外郭団体が公募に参加している事例はあまりないが、他局の施設では1～5%で設定している。また、イコールフットィングとは別の制度ではあるが、インセンティブ・ペナルティ制度では、評価に応じて5%減から5%増の10%の幅を設けているため、それらに準じて5%減と設定した。

【委員】

イコールフットィングを導入されている事例は福岡市ではあまりないということだが、市としてイコールフットィングの指針等はあるのか。

【事務局】

総務企画局が定めている「指定管理者の指定の手続きに関するガイドライン」に、外郭団体が公募に参加する場合には、公平性の観点から適切に対応するよう記載されている。今回、ガイドラインに基づきイコールフットィングを設けた。

【委員】

イコールフットィングを適用するのは博多港国際ターミナルとクルーズセンターだけなのか。他施設では適用しないのか。

【事務局】

イコールフットィングは外郭団体が公募に参加する場合を想定した制度である。博多港港湾施設は非公募であること、海浜公園は外郭団体の参加が想定されないため設けていない。

【委員】

もしかしたら海浜公園も外郭団体が参加する可能性があるのではないか。現段階で外郭団体の参加が想定されないと言い切って良いものか。

【委員】

これから公募する現時点で外郭団体からの応募があるかどうかは白紙の状態である。

委員が仰るとおり、現時点で外郭団体からの応募はないと言い切ることはできないのではないか。

【事務局】

実際の適用はともかくとして、海浜公園の公募にもイコールフットィングを設けることとする。

【委員】

公募前の現時点では客観性・透明性の観点からそうするのが良いかと思う。

【委員】

施設ごとに上限額の設定があるが、実績に踏まえて金額を算定しているということで良いか。

【事務局】

実績や人件費、物価の上昇等を加味して算定している。

【委員】

福岡市海浜公園、博多港国際ターミナル・中央ふ頭クルーズセンターに共通する内容なのだが、例えば福岡市海浜公園の募集要項5ページに修繕費が記載されているが、修繕費の金額の妥当性はどうか。

【事務局】

博多港国際ターミナル・中央ふ頭クルーズセンターにも共通するが、過去の実績等を含めて設定している。こちらに記載している修繕費はトイレの電気交換、水栓修理等、軽微な修繕を想定しており、大規模な改修については別途予算措置を取ることになる。

【委員】

募集要項に貸与の機器が記載されているが、パソコン等の経年劣化は大丈夫か。指定管理料にリプレース料は含まれているのか。

特に博多港港湾施設の機器リプレースは高額になるのではないかと思うがいかがか。ストラドルキャリア等はどうなのか。

【事務局】

パソコン等の機器については、備品等を引き継ぐ時点で更新が必要である場合は、年度の予算措置の際に把握し、予算措置を講ずる。

また、港湾施設についても貸与の機器はパソコン等のみである。

【委員】

福岡市海浜公園指定管理者募集要項の 19 ページに損害賠償と賠償責任保険について記載されており、「指定管理者の責めに帰すべき事由により損害が生じた場合は、指定管理者に損害賠償義務が生じる」とあるが、指定管理者の責めに帰すべき事由ではない場合は市の責任となるのか。

【事務局】

市の施設であるため、市の責任となる。

■審議事項 2 「評価項目及び評価基準」に関すること

【委員】

福岡市海浜公園及び博多港国際ターミナル・中央ふ頭クルーズセンターの採点表には、項目「3-⑤危機管理・安全対策について」があり、博多港港湾施設の採点表には項目 4 に危機管理に関する記載があるが、海浜公園については事故のリスクについて、博多港国際ターミナル・中央ふ頭クルーズセンターについては BCP（事業継続計画）について評価すると理解してよいか。

【事務局】

各施設での安全対策マニュアルの作成や指定管理者内部の連絡体制の構築等を想定している。

【委員】

海浜公園、博多港国際ターミナル・中央ふ頭クルーズセンターともに「3-⑤危機管理・安全対策について」の加重が 3 倍となっているが、利用者視点で考えるともっと増やすべきではないか。

【委員】

何かあった時の対応をきちんとすることは重要なので、委員が仰る通りもう少し評価して良い項目だと思う。事務局としてはどうか。

【事務局】

他の項目とのバランスがあるため、3 倍を 4 倍か 5 倍に変更して総得点を変更するやり方が良いのではないか。

【委員】

積極的な提案については加重して評価しているようだが、収支計画についての評価は加重 2 倍で全体の 7% 程度だが問題ないのか。

【事務局】

収支計画は指定管理料のなかで適切に運営できるかどうかという点で判断しているため、そこまで大きく配分する必要はないと考えている。

【委員】

評価の仕方についてだが、委員 5 人の点数を平均するのか。最上位と最下位 2 名の点数を

除いた平均を取ることもできると思うが。

【事務局】

5人の点数を平均する。なお、各委員の評価に大きな差がある場合の取扱いとしては、5段階評価で、3段階以上の差があった時（1と4、1と5、2と5の場合）、審査の公平性、透明性を確保するため、委員間で意見交換を行い、採点した根拠やポイントを本委員会の審査講評に記載することを予定している。

【委員】

港湾施設は非公募であり、評価基準がシンプルだが、重要なのは非公募であるからこそ説明責任を果たし、透明性を担保することだと思う。

いくつかの項目をまとめて適・不適をつける様式となっているが、委員で評価が分かれた場合はどうするのか。また、項目1つ1つについて、適・不適を評価すべきではないか。

評価の内容を確認すると、収支計画や個人情報保護についての評価基準がないが、不要なのか。

【事務局】

もう少し細かな項目ごとに適・不適を評価する様式に変更する。

また、収支計画については項目4の「申請団体の安定性、信頼性及び実績を十分に有しているか。」の項目で評価するものと考えている。個人情報保護についての評価基準を追加する。

【委員】

委員からのご指摘の通り、博多港港湾施設についても、福岡市海浜公園、博多港国際ターミナル・中央ふ頭クルーズセンターと同様に、評価項目を細分化したほうが良いと思う。

博多港港湾施設等の採点表の項目5に「港湾施設の運営に精通しているか。」と記載されているが、現指定管理者は当然精通しているに決まっている。そうすると、現指定管理者が次の指定管理を行うことを前提に作られているのではないかと疑われかねない。客観性をもって評価基準を設けるべきである。

【事務局】

修正する。

【委員】

福岡市海浜公園の採点表の3-3-①に「誰もが愛着を持ち、海を身近に感じることのできる憩いの場としての取組みが提案されているか。」と記載されているが、「誰もが愛着を持ち」については評価しづらい。

例えば、「海を身近に感じることのできる憩いの場として」であれば、ベンチの整備等が思い浮かぶが、「誰もが愛着を持ち」については非常に評価しづらい。

博多港国際ターミナル・中央ふ頭クルーズセンターの採点表の3-3-①に「マナーアップ啓発に係る取組みが提案されているか。」と記載されているが、外国の方々が訪れる玄関口となるため、おもてなしについての提案が必要なのではないかと思う。

博多港国際ターミナル・中央ふ頭クルーズセンターの採点表の3-3-③に「訪日外国人旅

行者がストレスなく快適に観光できるための提案がなされているか。」と記載されているが、観光案内所の充実等を想定しているのか。

【事務局】

海浜公園について、「誰もが愛着を持ち」については抽象的なため、文言を落とし、「海を身近に感じることでできる憩いの場としての取組みが提案されているか。」に修正するのはどうか。

博多港国際ターミナル・中央ふ頭クルーズセンターについて、おもてなしに関する評価基準を追加する。

また、3-3-③については、委員ご指摘のとおり、訪日外国人向けの掲示物、案内版、パンフレット等の充実を想定している。

【委員】

博多港国際ターミナル・中央ふ頭クルーズセンターの採点表の「3-3-③施設利用の有効活用への取組みについて」だが、クルーズセンターをドローンの試験会場として使用していたが、そういった施設利用についてこちらの項目で評価をしても良いのではないか。

【委員】

評価基準として分かりづらいものについてはもっと具体的に記載すべきではないか。

先ほどの福岡市海浜公園の「海を身近に感じるができる憩いの場」もそうだが、国際ターミナル・中央ふ頭クルーズセンターの「訪日外国人旅行者がストレスなく・・・」との記載が分かりづらい典型例である。案内板等の言語標記が英語・中国語・韓国語の3ヶ国語でなされているかどうかや外国人向けのパンフレット配布等、そういったことを評価できる項目にすると良いかと思う。

また、福岡市海浜公園の採点表の3-3-①の「誰もが愛着を持ち、海を感じるができる憩いの場としての取組みが提案されているか。」の項目を削除すると同項目の「施設の目的にあった効果的運営計画を提案しているか。」と5の「公園施設等の管理運営に適した実績及び提案を有しているか。」は内容が重複しているため3-3-①のほうは落として良いと思う。

そのように修正した場合、3-3-①の加重を3倍から2倍に落として良いのではないかと思うがいかがか。

先ほど委員よりご指摘があったとおり、3-3-⑤「危機管理・安全対策について」の加重を4倍にすれば、総合計は変更しなくて済む。事務局はいかがか。

【事務局】

了解した。

【委員】

福岡市海浜公園の採点表及び博多港国際ターミナル・中央ふ頭クルーズセンターの採点表の項目7に「収支計画が適正であるか。」との項目があるが、指定管理料の上限額の範囲内で適正な運営を行えるかという意味合いだと思う。

したがって、「指定管理料の低減が検討されているか。」あるいは「指定管理料を含む収入で賄える収支計画となっているか。」といった文言のほうが適切かと思う。

【事務局】

項目4―②「効果的で実現性の高い経費削減策が提案されているか。」と重複しているところがあるが、確かに分かりにくいいため「上限の範囲内で適切に収支計画が作成されているか。」といった内容に変更する。

【委員】

福岡市海浜公園の項目3―③に「水辺空間、新たなアミューズメント空間という観光資源としてのエリア全体に磨きをかける取組みが提案されているか。」と記載されているが、「エリア全体に磨きをかける」とは具体的にどのようなことを示しているのか。

【委員】

確かに観光資源が少ない福岡において、水辺空間、新たなアミューズメント空間という観光資源といった魅力を発信していくことだけで十分で、エリア全体に磨きをかける取組みまで必要ないのではないか。

【事務局】

「水辺空間、新たなアミューズメント空間という観光資源の魅力を発信する取組みの提案がなされているか。」といった内容に変更する。

第2回博多港港湾施設等に係る指定管理者選定・評価委員会議事要旨

○日時：令和5年9月15日(金) 13時15分～15時30分

○場所：福岡市港湾空港局局議室

■審議事項 応募書類の書類選考（審議、採点）

○福岡市海浜公園

【委員】

仮採点を行い、疑問に思った点、議論すべき点等についてお話しいただきたい。

まず、仮採点において、3点以上差があった項目「4-②管理運営の効率化及び管理経費の縮減」について議論を行いたい。

【委員】

事業計画書の「ご意見ご要望の積極的な収集と丁寧なフィードバック」のなかに「アンケート調査の実施」について記載があるが、アンケートの回収率について知りたいと思った。また、「プロモーション（宣伝広報）とマーケティング（サービス戦略的拡大）の強化」について記載があるが、正直、今まで施設のことをあまり知らなかった。これまで宣伝としてどのようなことをしてきたのだろうか。もっと新聞、メディア、テレビを使って広報をすべきではないだろうかと思った。

採点表「4-②管理運営の効率化及び管理経費の縮減」の項目に、私は2点をつけた。

「コスト意識の徹底」について記載があるが、今までできていなかったのか、改めて記載しないといけない内容なのか疑問がある。

また、「外部リソースの活用」について記載があるが、海浜の清掃等について、専門業者への委託することでより効率的に、より低コストで実施することが可能と思われるが、今まで実施していなかったことをこれから実施する趣旨ではないかと思い、2点と評価をした。

【委員】

委員の仰る通り、事業計画書に記載されていることは今まで実施してきた内容で、新たに実施する内容ではないのではないかと思う。

アンケートの回収率等も含め、事業者ヒアリングで具体的な内容を確認するしかないかと思う。

【事務局】

具体的な内容については事業者ヒアリングでご確認いただきたい。

【委員】

海藻撤去専用船を開発し、回収費用の大幅な経費削減に取り組んだり、植栽の剪定の再委託を止め、自社で剪定を行うことで管理費の節減を行ったりする等の取組みを評価し、採点表「4-②管理運営の効率化及び管理経費の縮減」の項目について良い評価をした。

【委員】

事業計画書の内容を確認したところ、現状の取組みと変わらないのではないかと思います、普通と評価した。

【委員】

事業計画書の内容が新規のものなのか継続のものなのか分からない点はあるが、事前に財務諸表を確認したうえで、企業努力をされていると評価した。

【委員】

委員の意見に同意である。現在実施されている内容を今後も継続することだろうと思ったが、内容を見る限り、一定の評価をして良いのではないかと思った。

これ以上の判断は事業者ヒアリングで確認するしかないと思う。

それ以外の項目で何かあるか。

【委員】

事業計画書に「個人情報の保護」について記載があるが、海浜公園が取り扱う個人情報とはどういったものなのか。どう評価していいかわからず3点と評価した。

【委員】

「個人情報の保護」について記載はあるが、具体的なことが記載されていない。事業者ヒアリングで確認するしかないのではないか。

【事務局】

海浜公園の場合は、従業員の個人情報やイベント開催の際の申請者の個人情報が対象となる。

【委員】

承知した。

○博多港国際ターミナル及び中央ふ頭クルーズセンター

【委員】

仮採点において、3点以上の差があった項目「3-①施設の運営に係る考え方及び運営計画」について議論を行いたい。

委員はいかがか。

【委員】

「具体的な運営計画」について確認したところ、パンフレットの充実やスタッフの対応等、様々な取り組みを実施することで集客に努める計画となっており、私は良い評価をした。

【委員】

施設をいかにうまく使うかと言う視点で評価した。事業計画の内容はしっかり書かれていると判断した。

【委員】

現在、指定管理をしている事業者であり、しっかり現状分析もしているため、大体良いので

はなかと思った。

【委員】

「ターミナル利用者の平等な利用を確保し」との記載があるが、「ターミナル利用者の平等な利用」とはどういう意味なのか分からなかった。

先ほどターミナル内を見てきたが、船が到着する時間でないので人がまばらであり、空の玄関口である福岡空港と、海の玄関口である博多港国際ターミナルでは、あまりにも差があることが気になった。

賑わいを創出するため、博多港国際ターミナルまできてもらえる取組みができないだろうか。外国人にこれが福岡かと思われるのは非常に残念である。

評価項目 3-①の「福岡市の海の玄関口として、訪日外国人旅行者のおもてなしの場としての取組みが提案されているか。」について、現在取組みがなされているとも思えず、事業計画書上も実現可能なのか分からなかったため、低評価をした。

【委員】

評価項目 3-①の「福岡市の海の玄関口として、訪日外国人旅行者のおもてなしの場としての取組みが提案されているか。」及び評価項目 3-②の「集めた利用者の意見要望などを運営に反映させる工夫がなされているか。」について、課題があるのではと思った。

「主な利用者ニーズ」として「旅客船乗下船の飲食対応」、「交通アクセス」、「時刻のスマートフォンやセルフオンが使えない」といったことを挙げているが、対応が不十分であるようである。

事業者ヒアリングの際に、もう少し具体的にお話を伺いたい。

評価項目「3-⑤危機管理安全対策について」だが、船舶火災への対応や BCP（事業継続計画）等ついて触れられていなかったのが気になるため、評価保留とさせていただいた。

○博多港港湾施設

【委員】

福岡市海浜公園、博多港国際ターミナル中央ふ頭クルーズセンターの評価方法と異なっており、5段階評価ではなく「適」又は、「不適」で評価する様式となっているが、事業者が1社しかないので不適につけることはできなかった。

5段階評価で採点し、点数が悪かったところを改善するよう事業者伝えるべきではないか。

【委員】

私自身も評価できない項目が2つあった。

今回はこの様式で評価するが、次回以降どうするか。

【事務局】

評価方法については、次回以降改善する。

委員会で議論した内容については事業者にしっかり伝える。また、疑問に思った点等につい

では、次回の事業者ヒアリングでしっかり聞いていただきたい。

【委員】

透明性と言う意味でもきちんと審査したという証明のためにも、5段階で評価したほうが良いと思う。次回以降検討していただきたい。

仮採点において、「適」「不適」いずれにも記載のなかった項目について議論させていただきたい。

項目「2施設の効率的な利用は図られているか。」について、気になったことはあるか。

【委員】

業務として、岸壁を使用するにあたって利用届を出すことがあるが、それ以外で施設の「効率的」な利用が図られているかについては不明であり、適とも不適とも判断ができず、保留とした。

【委員】

その点については、ヒアリングで聞くしかないのではないかと思う。

【事務局】

事業計画書に記載できていないこともあるかと思うので、ヒアリングで確認していただきたい。

【委員】

項目「3管理運営経費の縮減方針の策定や創意工夫がなされているか」についても、「創意工夫」の具体性が欠けている。

【委員】

現在運営しているなかで、利用者ニーズを把握しているかどうか分かりかねるが、滞りなく運営できているのも事実である。

【委員】

項目「4利用者の個人情報保護について、十分な措置を講じているか。」について疑問等はあるか。

個人情報について、記載はあるが具体的ではない。

今まで実施してきた内容を事業計画書に記述しているだけのように感じる。

【委員】

仮採点の際に、保留という選択肢が思いつかなかった

非公募になると提案内容も軽めになりがちであり、評価も今まで問題がなかったから良いのではないかとなりがちである。

非公募であるからこそ透明性をどう担保するのが重要である。

次回のヒアリングの際には、適不適の判断が保留となっている項目について、具体的な内容を確認したい。

また、そういった内容については、ヒアリングで確認するのではなく、事業計画書に記載していただきたいところである。

【委員】

提案書を確認すると、「利用者との信頼関係を構築し」等と記載されているが、具体的な内容が記載されていない。

【委員】

「利用者の平等な利用を確保する取組」についても具体的によく分からない。

【委員】

皆さんが言われる通りだと思う。非公募なので事業者の力の入れ加減が違う。指定管理とは民間の力を生かして利用者へのサービス向上を図るという目的があるため、非公募であるからこそ、きちんと評価をし、事業者がサービス向上により磨きをかける仕組み作りが必要。

【委員】

私自身、評価を保留した項目があり、「適」「不適」の2択だと不適とつけるのは難しい。評価保留の項目についてはどうすべきか。

【事務局】

ヒアリングをしないと保留箇所について判断できないと思うため、ヒアリングで確認後に再度評価していただきたい。

【委員】

「適」と評価したとしても5段階評価の5点ではない。5段階評価の2点の場合、不適とはつけにくい。今後はそういった点を踏まえて、評価方法について検討していただきたい。

第3回博多港港湾施設等に係る指定管理者選定・評価委員会議事要旨

○日時：令和5年10月4日(水) 13時15分～16時30分

○場所：福岡市港湾空港局局議室

■審議事項 応募事業者のヒアリング審査

○福岡市海浜公園

【委員】

事業計画書に外部委託について及び業務効率化について記載があるが、現在実施していることなのか、それとも今後実施する予定なのか。

【事業者】

外部委託については、現在実施している内容を記載しており、今後も継続して実施する予定である。

業務効率化については、現在実施している内容と今後実施していきたい内容の両方が含まれている。

【委員】

外部委託については、今後より一層、外部委託を進める、あるいは内製化する等、現行の見直しは行わないのか。

【事業者】

業務の効率化については、常に念頭に置いて取り組んでいる。現在、外部委託を行っているものについては、外部委託が適当と考えている。しかし、技術の進歩、社会情勢の変化等、今後の状況によっては見直しを行う。

【委員】

人材の育成計画について、実際に研修を実施した際の出席率を教えてください。

【事業者】

基本的には全員出席であるが、業務に支障がないように実施する必要があり、少なくとも過半数は参加するようにしている。研修後、研修の内容やその場で出た意見等は、参加できなかった社員にも共有している。

【委員】

利用者のサービス向上に関する方策として、アンケート調査の実施について記載されているが、アンケート調査の実績を教えてください。

【事業者】

春に2回、夏に3回、秋に3回、イベント開催時にアンケート調査を実施している。

また、通年でアンケートボックスを設置してアンケート調査を実施している。

【委員】

現在のアンケートで十分だと考えているのか、今後より一層充実させていくべきと考えて

いるのか。

【事業者】

多様性を大事にしないといけないと考えており、アンケートでいただいたご意見を反映するよう努めている。また、アンケートで意見としていただけていないことでも、内部で改善すべきと判断した点については改善している。

これからも様々なご意見をいただき、より多くの方に満足していただけるよう努めたい。

【委員】

そのような方法で、どれだけの方が能動的にアンケートに答えられているのか。

【事業者】

基本的には、意見がある方がアンケートに回答している状況である。

アンケート強化週間を設ける等、なるべく多くの方の意見をいただけるよう努めていきたい。

【委員】

アンケート集計数は適当なのか。

【事業者】

基準がないため判断できかねるが、今の集計数で足りないようであれば、より多くの方にアンケートに答えていただけるよう努めていきたい。

【委員】

今までこのようなイベントが海浜公園で実施されていると知らなかった。メディアを活用して、イベントのPRをもっとすべきではないか。

【事業者】

これまでの広報活動が十分でなかったと反省している。

現在、旅行会社と海浜公園の情報共有をして国内向けにPRしたり、韓国の旅行会社に韓国国内向けにPRを行ってもらったりしている。

今後は、メディアに紹介したいと思ってもらえるような話題づくりにも努めていきたい。

○博多港国際ターミナル及び中央ふ頭クルーズセンター

【委員】

交通アクセスの改善として、公共交通機関への働きかけを取組みとして挙げているが、2024年のドライバー問題についてどう考えているか。

【事業者】

バスへの働きかけは現在検討中である。他方、タクシー業界とは密に連携し、配車にご協力いただいている。

【委員】

キャッシュレス化への対応として、ATM機器の設置を挙げているが、韓国ではキャッシュレス化が進んでいるため、日本人が帰国した際にATMを使用することを想定しているのか。

【事業者】

コロナ禍以前は韓国人旅行者が多かったが、最近は欧米からの旅行者が増えている。韓国人も欧米人もキャッシュレス化で現金をほとんど持っておらず、預金口座からお金を引き出したいというよりは、クレジットカードのキャッシング機能を利用したいとのご意見をいただいている。そのようなご意見に対応にできるよう、現在、ATM 機器の設置を検討しているとのことである。

【委員】

ATM 機器を設置するとなると金融機関の負担費用が生じるが、指定管理者が費用を負担すれば金融機関は設置に前向きになるのか。

【事業者】

現在、様々な金融機関と協議中である。金融機関によってかなりばらつきがあるが、費用は月 25 万円ほどかかる。

ATM 機器の利用者が一定数以上増えた場合、逆に、手数料が指定管理者側に入ることになる。

【委員】

プリペイド SIM カードの販売についても検討しているとのことだが、ニーズはあるのか。

【事業者】

総合案内所に、プリペイド SIM カードはどこで買えるのかといった問い合わせが非常に多く寄せられている。博多駅近郊の家電量販店等で購入可能だが、船が到着した時間帯には閉店しており購入できない状況である。

【委員】

福岡市の海の玄関口として、賑わい創出のためのイベント等の開催や見送り客が利用できるレストランの設置等については考えていないのか。

【事業者】

イートインコーナーの設置や専門学校の発表の場として活用、ストリートパフォーマンス等、若者に来てもらえるような企画を実施し、若者たちに活動の場所を提供するなど試したい。

【委員】

現在、ATM 機器の設置、SIM カードの販売がなされておらず、飲食ができる場所もほとんどない状況である。新型コロナウイルス感染拡大の影響があったとはいえ、福岡空港でなされている取組みが海の玄関口である博多港国際ターミナルでなされていない。

利用者からも改善の声が上がっているにも関わらず、未だに対応されていないのはいかがなものか。

【事業者】

以前はコンビニ等のテナントが入っていたが、コロナ禍に船舶の運航が停止したことに伴い、テナントが撤退した。現在、船舶の運航が再開し、利用客が戻ってきたため、今後はテナントの誘致を行い、賑わい創出や利便性の向上に努めていきたい。

【委員】

事業計画書にBCP（事業継続計画）の緊急対応についての記載があまりなされていなかったが、どう考えているのか。

【事業者】

港湾施設のBCP（事業継続計画）については、市で作成されている。指定管理者は基本的に、ハード面というよりソフト面で対応することになるかと思う。指定管理者で対応すべきことについては、今後も市と連携して行っていきたい。

○博多港港湾施設

【委員】

利用者アンケートの回収率について教えていただきたい。回答数は十分なのか。

【事業者】

128社にアンケートを実施し、回収率は23%程度である。

【委員】

回答数は十分とは言えない。

【事業者】

今後、回収率が上がるよう、アンケートの方法及び内容について検討したい。

【委員】

管理運営経費の縮減についての取組みは、継続して行うという理解だが、新しく取り組みことがあれば教えていただきたい。

【事業者】

外部委託していた業務の内製化を検討したいと考えている。

【委員】

事業計画書を拝見すると、外部委託をしている業務が多くあるが、委託費を直営に戻して管理運営経費を削減するということか。

【事業者】

仰る通りである。指定管理以外にも様々な業務を行っているため、経理等の類似業務を包括的に契約することによる経費削減を検討している。直営化に戻し、ノウハウを持った社員を活用することで、経費の縮減につながる。

【委員】

そもそもノウハウを持っている社員がいるのになぜ外部委託していたのか。

【事業者】

当時の経営陣の判断ではあるが、当時は外部委託の方が安かったことも理由の一つである。

【委員】

評価項目として「利用者の平等な利用の確保についての提案」があるが、入港に際して海運企業の優先利用はあるのか。

【事業者】

博多港の岸壁利用の優先利用の考え方として、背後地の野積場や上屋の機能を考慮し、船を優先させるといったルールがある。穀物船等の一般の船舶については、博多港に到着した順に入れることになっているが、天候等によってスケジュールが変更となることもあるため、柔軟に対応している。

【委員】

一定の企業が優先権を持っているということはないということか。

【事業者】

はい。優先権はない。

【委員】

施設の管理に関する基本方針に「利用者との信頼関係を構築し、業務の効率化を図ります」と記載されているが、「利用者との信頼関係の構築」について具体的な内容を教えていただきたい。

【事業者】

施設利用の窓口をしているため、利用者とのコミュニケーションを密に取っている。また、スケジュール調整も行っており、利用者との関係性は構築できていると考えている。

■ 審議事項 指定管理候補者選定

○福岡市海浜公園

【事務局】

委員の採点を集計したところ、合計点 618 点、平均点 123 点であった。

【委員】

当応募者を指定管理者の候補者として「適当」と決定してよろしいか。

【各委員】

異議なし。

【委員】

講評にあたっては、メディアを活用した PR、海浜公園におけるイベント等の積極的な情報発信を行う等、集客に努めていくよう、意見を付したい。

○博多港国際ターミナル及び中央ふ頭クルーズセンター

【事務局】

応募者は市の外郭団体のため、イコールフットイングとして合計点数から 5% の減点を行った結果、合計点 525 点、平均点 105 点であった。

【委員】

当応募者を指定管理者の候補者として「適当」と決定してよろしいか。

【各委員】

異議なし。

【委員】

講評にあたっては、施設内における飲食機能の充実、ATMの再設置、プリペイドSIMカードの販売等、旅行客をはじめとした利用者の利便性の向上に速やかに取り組むよう、意見を付したい。

また、市や関係行政機関との連携を緊密にし、災害・事故発生時の対応策の設定を行うとともに、事業継続に支障がないように努めるよう、意見を付したい。

○博多港港湾施設

【事務局】

採点表のうち、「2 運營業務等において施設の効用を最大限発揮するものであること 利用者に対するサービスの向上は図られているか」及び「3 管理に係る経費の縮減等について 管理運営経費の縮減方針の策定や創意工夫はなされているか」の項目について空欄で評価されていた。

【委員】

評価が空欄になっていた項目を中心に意見交換を行いたい。

【委員】

「2 運營業務等において施設の効用を最大限発揮するものであること 利用者に対するサービスの向上は図られているか」の項目に関連して、アンケートの有効回答率についてヒアリング時に質問したが、有効回答率を増やす努力がなされているとは思えず、空欄で評価した。

また、「3 管理に係る経費の縮減等について 管理運営経費の縮減方針の策定や創意工夫はなされているか」の項目について、委託している業務を直営に戻すことについても努力とは認められず、空欄で評価した。

【委員】

前回の審議で判断できなかった項目については、今回のヒアリングで疑問点を解消し、適・不適のいずれかの評価をすべきだと思う。

委託している業務を直営に戻すことについては、当時の経営判断で業務委託していた経緯もあり、企業方針の変更として納得はできる。

【事務局】

不適と評価された項目については、事業者には改善すべき点として伝える。

【委員】

「3 管理に係る経費の縮減等について 管理運営経費の縮減方針の策定や創意工夫はなされているか」の項目については適と評価する。

しかし、「2 運營業務等において施設の効用を最大限発揮するものであること 利用者

対するサービスの向上は図られているか」の項目については不適と評価する。
利用者アンケートの実施について、有効回答数を上げることなどにより利用者ニーズの把握をしっかりと行い、利用者に対するサービスの向上に反映するよう努めるよう意見を付したい。

令和5年度 第1回 アイランドシティはばたき公園に係る指定管理者評価委員会
議事要旨

○日時：令和5年5月11日（木）15時30分～17時00分

○場所：博多港センタービル8階 会議室

■指定管理者の公募

【委員】

- ・審査項目「⑩専門的人材の確保・育成が図られているか」において、どのような専門的人材を求めたいのか具体的に記載する必要があると考えている。

【事務局】

- ・募集要項において、「公園管理・運営、造園技術、自然環境、生物、湿地、ビオトープ、企画運営等に関する資格保有者がいることが望ましい」と記載している。

【委員】

- ・資格保有者も大事であるが、自然相手の仕事なので、予期しないことが起きた時にうまく対応できるかどうかも大事である。

【委員】

- ・そういった対応力については、資格取得時期から、どの程度年数が経っているかについても見る必要がある。

【事務局】

- ・募集関係資料において、資格取得年次を確認できるようにする。

【委員】

- ・審査項目「⑩専門的人材の確保・育成が図られているか」において、人材の育成を求めている意図はなにか。

【事務局】

- ・配置人員に求められる知識や技術は日々変化するため、常に人員の質が保たれ、向上されるように、研修の実施等を求めている。

【委員】

- ・適正に管理するための専門的人材をアイランドシティはばたき公園に、配置されるかを確認する必要があり、審査項目「⑨維持管理や企画運営等に必要な組織体制・シフト体制・その他管理運営体制は適切か」において、その専門的人材の勤務時間を確認することが重要になると考えている。

【事務局】

- ・「⑨組織体制・シフト体制 その他の運営管理計画」に記載された人員と「⑩専門的人材の確保及び研修」に記載された人員を紐づけて確認できるように、募集関係資料を修正することで、専門的人材の勤務時間を確認できるようにする。

令和5年度 第2回 アイランドシティはばたき公園に係る指定管理者評価委員会
議事要旨

○日時：令和5年7月31日（月）13時30分～15時30分

○場所：博多港センタービル8階 会議室

■選定における評価基準について

【委員】

- ・「選定時の採点表」の「⑤施設維持管理計画は適切か」の審査基準を、湿地の管理についても評価できるようにしたほうがよい。

【事務局】

- ・文言を追加して修正を行う。

【委員】

- ・湿地の管理についても評価するのであれば、重要な項目となるので、「⑤施設維持管理計画は適切か」の配点も見直すべきと考える。

【委員】

- ・生きものの生態系が脅かされることに対するリスク管理についても、一見「⑥リスク管理計画は適切か」に記載するように思えるが、施設の安全管理や施設の保安警備、個人情報保護、緊急対応について記載することとなっており、生態系に関するリスクも「⑤施設維持管理計画は適切か」に記載してもらえばいいのではないか。

【委員】

- ・「⑥リスク管理計画は適切か」について、安全管理や保安管理等が他の公園と比較して相対的にリスクが高そうであれば、配点を下げるべきではないが、都心の公園でもないため、そこまでリスクは高いとは考えられない。

【委員】

- ・決して他のリスク管理を軽んじるわけではないが、他の都市公園と比べて湿地の管理を取り扱わないといけないことから、「⑤施設維持管理計画は適切か」の配点を9点から11点に、「⑥リスク管理計画は適切か」の配点を8点から6点に変更してはどうか。

【事務局】

- ・「⑤施設維持管理計画は適切か」につきましては、A評価が11点、Bが9点、Cが7点、Dが3点、Eが0点とし、「⑥リスク管理計画は適切か」につきましては、A評価が6点、Bが4点、Cが3点、Dが2点、Eが0点に変更しようとするがどうか。

【各委員】

- ・異議なし。

【委員】

- ・アイランドシティはばたき公園の特徴である湿地の管理についての議論を深めてきたが、「⑫類似施設・類似事業の管理運営実績はあるか」の審査の基準に注目すると、都市公園の管理実績があるかと記載してある。湿地やビオトープの管理

実績を加味できるとよいのではないか。

【事務局】

- ・「⑫類似施設・類似事業の管理運営実績はあるか」は、5点を上限とした加点方式であり、提出された管理実績に基づいて加点していく。事務局で湿地やビオトープの管理実績を加味する案を作成し、委員長にご相談させていただくということによろしいか。

【各委員】

- ・異議なし。

【委員】

- ・第2号議案については、⑤施設維持管理計画は適切か」と、「⑥リスク管理計画は適切か」の配点の修正を行う。また、「⑫類似施設・類似事業の管理運営実績はあるか」の審査の基準の追加については、委員長に一任いただき内容を精査したうえで、各委員に結果を報告する。議案については以上によろしいか。

【各委員】

- ・異議なし。

令和5年度 第3回 アイランドシティはばたき公園に係る指定管理者評価委員会
議事要旨

○日時：令和5年9月8日（金）13時30分～16時50分

○場所：博多港センタービル8階 会議室

■指定管理者応募者の面接審査について

【事務局】

（応募4団体のうち、書類審査の結果を踏まえて、委員会が必要と認めた3団体について面接審査を実施し、委員会の最終評価を決定する旨を説明）

■A団体 面接

【応募団体】

- ・事業計画書の内容を説明

【委員】

- ・利用者負担額が高額なイベントがあるが、この負担額の内訳を教えてもらいたい。
また、利用者負担額が高額なため、参加者が集まらないことが懸念されるが、実績があれば教えてもらいたい。

【応募団体】

- ・材料代が高価であり大部分を占めているが、イベントで作ったものは、持って帰ってもらう予定であり、参加者は集まると想定している。

【委員】

- ・ボランティアの募集は、はじめは広く一般の方にボランティア体験への参加を呼びかける形から始め、ボランティアとなる人材を見つけ出すということか。

【応募団体】

- ・そのとおりである。ボランティアの獲得方法は様々だと思うが、はじめから興味関心が高い人はもちろん、子どもに野鳥を見せたいということで参加した人に、公園の意義などを説明することで新たなサポーターに育てていくことも重要だと考えている。

【委員】

- ・運営体制について、学校帰りの子どもたちへの環境学習の対応はどのように考えているのか。

【応募団体】

- ・生物に関する技術者を配置予定であり、学校帰りの子供たちへの環境学習の対応ができる体制を構築していきたい。

【委員】

- ・運営体制の人員の確保はどのくらいの確度か。

【応募団体】

- ・所長と、副所長は確定。その他の人材は今後募集するか、OBの雇用を考えている。

■A 団体 審査結果の協議・確認

【委員】

- ・生きものについて詳しい団体であること、及び生きものが好きな人が多い団体であることは理解できた。

【委員】

- ・マスメディア（放送会社）での広報を月に1回 3～5分放送することを提案されており、評価できる。

【委員】

- ・アンケートによるニーズ把握の結果を開示する提案は評価できる。

■はばたきエコパーク・マネジメントチーム共同事業体 面接

【応募団体】

- ・事業計画書の内容を説明

【委員】

- ・提案されている体験プログラムは利用者が参加料を負担するイベントが多く、参加者が集まらないことが懸念されるが、実績があれば教えてもらいたい。

【応募団体】

- ・他施設における実績がある。利用者に参加料を負担いただくことで、質の高いイベントを実施したい。

【委員】

- ・提案されてる「体験湿地」や「meadow（様々な草や野の花が咲く空間）」の整備は指定管理者で行うのか。

【応募団体】

- ・そのとおりである。

【委員】

- ・「体験湿地」へはどのように水を引き込むのか。

【応募団体】

- ・遮水シート等により雨水を溜めようと考えている。

【委員】

- ・「はばたきレンジャープロジェクト」を企画されているが、それと運営体制の樹状図にある「サポートチーム」は別団体か。

【応募団体】

- ・「はばたきレンジャー」やアイランドシティはばたき公園で活動される他団体を含めて、「サポートチーム」と定義している。

■はばたきエコパーク・マネジメントチーム共同事業体 審査結果の協議・確認

【委員】

- ・魅力的な指定管理者企画事業として多種多様な体験プログラムが提案されていた。

【委員】

- ・人員配置が特徴で、ネイチャーガイドのできる人員を土日祝日には二人配置しており、平日にも概ね一人配置している点は評価できる。

【委員】

- ・中長期的な管理運営体制としては、ボランティアを育成していくことが重要であるが、ボランティアの育成について計画されているので、良い提案だと思う。

■西鉄グリーン土木・日水コン共同事業体 面接

【委員】

- ・webカメラの設置を提案されているが、湿地の様子を撮影するLIVEカメラ映像は定点を映すだけか。

【応募団体】

- ・向きの変更や、ズームができるものとする予定で、ホームページ上で閲覧できるようにする予定である。

【委員】

- ・ボランティアグループの募集方法や、スキルアップの手法をどのように考えているか。

【応募団体】

- ・気軽にボランティアに参加できるよう工夫しながら募集する予定であり、水辺に生える植物の抜根や底泥の浚渫などの維持管理に参加してもらおう。湿地のモニタリング調査の中でも簡単な調査には帯同してもらいスタッフから解説を行いながら一緒に調査してもらおうことも考えている。また、ボランティアの方にアンケートを実施し、その意見も活動に反映していきたい。

【委員】

- ・水族館と連携することのメリットは何か。

【応募団体】

- ・海の中道海浜公園内にビオトープを作って管理をしている実績があり、水生昆虫に深い知見がある人員も多い。また、水族館はインターネット等のアクセス数が非常に多く、タイアップすることで、アイランドシティはばたき公園の認知度アップにもつながると考えている。

【委員】

- ・平日学校帰りの子供たちへの環境学習の機会の提供について、どのように考えているか。

【応募団体】

- ・来園者が単独でも湿地の生きものを見つけるための手助けとして、地図に観察できる生きものをプロットした資料を張り出したりして工夫したい。

■西鉄グリーン土木・日水コン共同事業体 審査結果の協議・確認

【委員】

- ・湿地の管理においては、水位管理が重要である点など、アイランドシティはばたき公園が普通の公園とは異なるということをよく理解していると感じた。また、湿地にこだわった体験プログラムを提案してきていた。

【委員】

- ・環境配慮の理念として、雨水の利用を提示されており、簡単な方法ではあるが効果的だと思った。

【委員】

- ・管理運営のテーマ設定は適切であった。

■選定結果について

【委員】

- ・全委員の評点をみると「はばたきエコパーク・マネジメントチーム共同事業体」は、一番高い評価を受けているが、委員個別にみると、低い点数をつけている委員もある。ご意見はあるか。

【委員】

- ・「はばたきエコパーク・マネジメントチーム共同事業体」について、特段不安要素はなく、標準以上の評価をしており、指定管理者の候補者となった場合に、特に心配な点はない。

【委員】

- ・同意見である。

【委員】

- ・全委員の評点において高い評価を受けていることなどを踏まえ、総合的に判断した結果、委員会として「はばたきエコパーク・マネジメントチーム共同事業体」を候補者に、「西鉄グリーン土木・日水コン共同事業体」を次点候補者に選定する。応募団体に対する委員会としての講評については、委員長に一任いただきくことよろしいか。

【各委員】

- ・異議なし。